

事務局：(財)奈良県緑化推進協会内

〒630-8301 奈良市高畑町 1116-6

TEL 0742-24-0200 FAX 0742-24-2110

メールアドレス: gvnc@nifty.com

ホームページ: <http://homepage2.nifty.com/gvnc>

●主な活動の記録 (1月～3月)

成 25 年 1 月 12 日 定例活動 矢田山遊びの森

新年最初の定例活動日、“今年もよろしく”と挨拶を交わしながら 28 名が参集。

まず、正月の飲み食いで鈍った体をラジオ体操で解した後、理事長の年等の挨拶、その他連絡事項の伝達があり、午前中の活動として、植栽地”体験の森”での草刈り、新年会準備、炭窯の修理に分かれての作業。

昼には、甘くて温かい甘酒と餅入りぜんざいで新年を祝して歓談。午後からは、炭窯屋根やら周辺にたまった落ち葉を掻き集め、カブトムシの幼虫の餌用として袋詰めにし保存したり、午前に続いての炭窯修理を行った、

1 月 19 日(水) 自主活動 炭材運び

3 月に予定されている炭焼き用の炭材として、昨年 11 月に奈良北高校林で除伐し玉切りしておいたスギ材を利用すべく、軽トラで矢田山に運び込むため、6 名が参加。生木に近くなかなかの重量にて、3 往復がヤットで、運べたのは一回の炭焼きに必要な量の半分程度。小径木も上げ木に使うため合わせ搬送。

1 月 26 日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

28 名が参加。午前中は、大半は植栽地”体験の森”での下草刈り、近くで大伸社により、植えられ 10 年程が経つスギの枝がかなり張ってきたので、初めての枝打ちを一本梯子を使って実施。数名で炭材用として運び込んでおいたスギ間伐材の玉切り作業。

午後は、シイタケ銀行の古くなったホダ木の整理と午前から続いての炭材づくり。

解散後、理事が集まって今後のイベント並びに助成事業も含めての内容・スケジュールの打合せを行った。この際、どんぐり不足で実施が危ぶまれていた東日本大震災復興支援としての”どんぐりプロジェクト”、事務局よりどんぐりの送付があり、実行出来る運びとなった旨担当理事より報告があり、イベントの内容につき検討結果、子どもたちの参加を募って 3 月 23 日(土)に実施することとした。詳細はHP本体イベント案内をご覧ください。

2 月 3 日(日) 自主活動 炭材集材

先月 19 日に続いての活動。今回は参加者 8 名、かつ材の引き上げには、ひっぱりダコを使ったため、これの威力もありかなり太いものも含め効率よく集材し、4 往復したため必要な量をほぼ矢田山に運び込むことが出来た。後は乾燥を待ち、太いものはマキ割り器で割り、三月始めに窯詰め予定。

## 2月9日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

20 数名が参集、新入会一人の紹介あり。マウンテンバイクの愛好家で、日頃当地でも楽しんでおり、景観保全を手伝いたいと入会。

予定していた植栽地の草刈りは次回とし、ほとんどが炭焼きの準備のための作業をすることした。昨秋炭窯近くのスギ林で間伐し、棚積みしていた材を”ひっぱりダコ”で窯近くまで搬出し、炭材用に玉切って、太いものは薪割り器を使って手ごろな太さに割った。一方予め運び込んでおいたものの玉切り、短いのは薪用におので割り、また小径木は上げ木・敷き木用に小口切りした。

3月23日(土)開催のイベントーどんぐりプロジェクトのチラシの配布があり出来るだけ多くの子供の参加を募るため各自知り合いへの声かけ、また3月20日(水)からの炭焼当番(一般参加も歓迎)への参加協力の要請があった。



## 2月20日(水) 自主活動 矢田山遊びの森

前日の雪が所々残っている寒い中、参加者7名が頂上展望台近くの竹林の伐採を実

施。作業中樹上に積り、氷状になった雪の塊が降りかかり驚かされながら作業を進めた。来月のイベント実施の場所でもあり、アクセス・足元の整備を兼ねて行った。

## 2月23日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

前回に続き、初参加一名あり、合せて20名が参加。冬空の中では風もなく、比較的動きやすく朝礼後の体操は、みんな伸び伸びと体を動かし、ほぐしていた。

### 活動

- ・椎茸用のホダ木を80cmに切り、井桁に積み重ねた。(近日中に種駒を打つ予定)
- ・3月に炭焼きをする為の準備として、窯の中で上下に敷く・被せる粗朶の準備。
- ・炭焼き窯の下面に走る空気循環筒の補修として窯の外側に竹を半割りし、節を除いて再度合して埋め込み仕上げ。
- ・イベントプロジェクトDの準備として、ドングリの苗木を育てる畑の草刈りに分かれ午前・午後作業をする。

午後、半数の人がチェーンソーの目立てと、整備、使い方を復習。

この日、県社会福祉総合センター(畝傍)で県協働推進課主催によるボランティア情報交流会が開催され、当クラブ他15団体がコーナーを設け、また多くの団体からの資料提供により、一般参加者へのボランティア参加呼びかけ、並びに団体間での情報交換会をもち、今後の活動への参考とした。



薪づくり

配管の埋め込み

チェーンソー指導

## 3月9日(土) 矢田山遊びの森 定例活動

初夏を思わすほどの暖かい日、会員29名にに加え、奈良リコー社員17名(中には家族づれも)の参加があり、久し振りに大人数となった。

参加者の半数は、竹伐り・イベントに備えてのアクセス整備に、後の半分は炭窯炭材

の詰込みの二手に分かれての作業。竹伐りの現場は徒歩 30 分強を要するので、いつもより早めに朝礼・体操。

炭材の詰込みは、講師として県森林技術センター西尾氏を招き、炭が出来る原理の説明から作業の留意点等の指導を仰ぎながら進めてた。

リコーの皆さんは午前中だけの活動となり、午後は会員のみで引続いての作業。

この日、どんぐりプロジェクトのイベント並びに当クラブの活動内容について毎日新聞社の取材を受けた。

\*\*同紙 11 日付け朝刊奈良版トップに、どんぐりプロジェクトを紹介する記事を掲載頂きました。



講師の説明

炭材を手送り

詰め込み

焚き口づくり



3 月 20 日(水) 自主活動 炭焼き 矢田山遊びの森

朝一番、参加者全員で炭窯焚口前で、理事長先導による安全祈願に続き、清めを行って火を入れた。



今回は、県の森林整備等普及活動支援事業の一環として、間伐材の有効利用としての木炭づくりだが、2年近くのブランクがあり、一部手探りながらも県森林技術センターからの指導を得て、入念に準備を進めこの日を迎えた。窯が冷え切っていることもあり、3昼夜連続の窯焚き、焚口閉鎖後4~5日の温度管理を交替しながら見守る予定。今のところ温度は順調に上昇を続けている。

参加者の約半数は、23日のイベントに備え、竹を伐り、ポット用に小口切りを実施。

安全祈願

清め

火入れ

薪の投入



### 3月23日(土) 東日本大震災復興支援 “どんぐりプロジェクト”

被災地によみがえらそう縁をと、一般参加者小人・保護者を合せ約50名と会員22名が矢田山遊びの森に参集。

理事長が、本プロジェクトに賛同し、多くの方々が参加頂いたことを謝し、趣旨説明に次いで、オリエンテーション・ラジオ体操・記念撮影。

景観保全活動の一環としての竹伐り体験のため、約40分をハイキング気分で現場へ移動。人工林への竹の侵入の現状、作業要領、注意事項等を説明の上班別に作業開始。

太目の竹を選び、代わる代わる竹ノコギリで力を合せて切倒した。

昼食後、持ち帰った竹をポット用に小口切りし、底に錐で水はけの穴をあけ土を詰込み、被災地の子どもたちが集めて送ってくれたどんぐりを早く元気な芽が出るよう祈りながら一つ一つ丁寧に埋め込んだ。これを各自家に持ち帰り育ててもらおうこととした。

この後、椎茸植菌体験、炭を焼成中の炭窯を見学。

最後に、心を込めて大事に育てるようお願いし解散。(育てた苗は、後日持ち寄り纏めて被災地へ送り返す。)

<<<この模様を、全国事務局 HP [www.project-donguri.com](http://www.project-donguri.com) に早速アップして頂きました。"どんぐり成長レポート"欄をクリックしてご覧下さい。>>>



参加者一同

竹きり

ポット作り

どんぐりの埋め込み

椎茸菌の駒打